

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・自然（音）
- ・自然（園庭/花）
- ・自然（園庭/コンポスト・科学）

<テーマの設定理由>（テーマに関する 子どもの興味関心、園の特色 など）

- ・いろいろな音に触れ体全体で表現することを楽しむ。自然の音を感じいろいろな音色に興味を持ち音を奏でたり、自然物（木製）から作った楽器に触れ温かみのある音を聴き乳児クラスならではの演奏を楽しむ。
- ・土の感触を感じ、苗を植えたり花の種まきをし育てる。花を摘み色水を作り楽しむ。
- ・コンポストで堆肥作りをし土の大切さを学び五感を使って体験しながら環境や食べ物大切さを知る。コンポストで作っている堆肥の観察。顕微鏡にて土を見ることで発見を楽しむ。自然の不思議を体験する。

2. 探究活動の実践

		対象クラス・対象人数							
	実施日	0歳児 クラス (人)	1歳児 クラス (人)	2歳児 クラス (人)	3歳児 クラス (人)	4歳児 クラス (人)	5歳児 クラス (人)	地域 子ども (人)	地域 大人 (人)
①	12月17日	6							
②	12月22日				18				
③	12月17日						18		
④									
⑤									

活動内容
0歳児：公園で拾ってきたドングリでマラカスを作り歌いながら振って鳴らす。木製の楽器（エッグシェーカー・鈴・タンバリン・太鼓・ギロなど）も用意すると上手に使う音を楽しむ様子がある。リズムに合わせ子ども同士身体をゆらしたりしながら楽しんでいた。3歳児：育てている花を摘みに行くと子ども同士でおいをかぎあう姿があった。お部屋に戻りペーパーにそっと置き紙の上から体重を上手にかけ押し花づくりを行う。こうするんだよねと言いながらそっと、やさしく行っていた。5歳児：科学タイムで風について学ぶ。紙で作る風を強くするにはどうしたらいいんだろう？の問いかけに今まで経験してきたことをどんどん思い出しながら、発表する場面が多くみられた。「紙は折ると強くなる」実際にやってみると自分たちで考えていたことが目で確かめることもでき大喜びの子どもたち。作った風を飛ばし飛ばし方も考えていた。

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等を記載ください。
（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等）

活動におけるチェックリスト	
グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。	○
活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。	○
乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。	○
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。	○
幼稚園・保育所等の各施設の教諭数値・保育者同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。	○
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。	○

活動の様子が分かる写真 2 枚 以上 を貼付 してください。
 （HP など で 公 開 する 可 能 性 が あ り ま す の で 、 公 開 可 能 な も の を 使 用 く だ さ い 。 ）



3. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞
0歳児の子どもたちだが、何度も手にしていたことで使い方もわかるようになり、上手に使えるようになっていた。歌を歌うと身体を揺らし持っている楽器を鳴らす姿に経験が大事だということを学んだ。何度も何度も繰り返し楽しむ姿があったので活動の中にたくさん入れていきたいと思った。
3歳児：エントランスにあるプランターを毎日見ている子どもたち。いつ押し花作の？と日々楽しみにしていた。花の匂い色にも興味があり子ども同士で何色きれいだねなど話している姿もある。優しく押し花を作る姿に大切に育てている子どもたちの思いを感じた。
5歳児：日々の経験の積み重ねが考える力につながっている様子が子どもたちの話し合いの中から感じ取れた。いろんなことに興味を持ち自分の意見が言えるようになってきている。これからもたくさん子どもたちと過ごす中でいろいろな力が発揮できるような保育をしていきたいと思う。

4. 今月の購入実績

[illegible]

記入日： 2026/1/9

記入者： 平山清美